

伝統的木造住宅と省エネルギー基準

— 調査データからわかる多様性と実態 —

2016年2月16日(火) 13:00~17:00

衆議院第2議員会館1階 多目的会議室

昨年12月のCOP21では新しい温暖化対策の枠組みが検討され、我国でも低炭素社会の実現をめざして建築物エネルギー法が今年4月に施行され2020年にはすべての新築建物においてエネルギー基準の義務化が予定されています。

伝統的構法の木造住宅は、地域の風土・文化・知恵に根づく日本の原風景をなしており、未来へ継承するべき貴重な存在です。伝統的木造住宅については「地域の気候・風土に応じた住まい作りの観点から適切」と認めるための判断についてガイドライン等の整備が進められています。

過去3年にわたり日本建築家協会環境行動ラボ伝統的工法のすまいサーチユニットでは、伝統的構法の木造住宅の温熱性能とエネルギー消費量の実態を定量的、定性的に調査しました。その後、日本建築士会連合会、日本建築学会、東京建築士会、木の建築フォーラムと共同し、伝統木造住宅の多様性と省エネ基準との適合性に関し議論を重ねてまいりました。

本報告会では、近年建てられた伝統的木造土壁住宅23事例について、調査の結果発表及び設計者ごとの多様な省エネ・低エネルギーを目指す設計手法に関して発表を行います。

挨拶・趣旨説明	中村 勉 (建築家・ものづくり大学名誉教授)
調査報告	篠 節子 (篠計画工房)
事例紹介	古川 保 (古川設計室)
	綾部孝司 (綾部工務店)
	山田貴宏 (Bioフォルム環境デザイン室)
	日高 保 (きらくなたてものや)
	高橋昌巳 (シティ環境計画設計)
	林 美樹 (ストゥディオ・プラナ)
公開フォーラム報告	未定
まとめ	安藤邦廣 (建築家・筑波大学名誉教授)

※報告会途中に来場国会議員の紹介・挨拶が行なわれる予定です

会場：衆議院第2議員会館1階

多目的会議室 (定員140名)

千代田区永田町2-1-2

(東京メトロ丸の内線・千代田線 国会議事堂前駅)

1番出口より徒歩3分)

参加費：1,000円 (資料代)

当日集合場所：

12時45分までに衆議院第2議員会館正面ロビーにお越し下さい。入館証をお渡しします。なお、到着が13時以降になる場合は、各自入館手続きをお願いいたします。

申込み方法：

これ木連 HP 内の申込みフォーム又は氏名、所属、連絡先、人数を明記の上、2月10日までに下記メールアドレスまたはFAXにて事務局にお申込みください。

これからの木造住宅を考える連絡会

<http://koremoku.seesaa.net/> 【これ木連】で検索

e-mail: koremokuren@e-mail.jp fax: 03-3356-4843

問合せ先：

(公社)日本建築家協会 環境行動ラボ 伝統的工法のすまいRU (林)

e-mail: contact@prana-trees.com tel: 03-5303-8317